

平成 30 年度第 8 回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会 議事録

日時・場所：平成 30 年 11 月 6 日（火）13：30～14：45 評議会室
出席者：廣川理事長（議長）、堺井副理事長、倉茂理事、山根理事、田端理事、井手環境科学部長、南川工学部長、水野人間文化学部長、甘佐人間看護学部長、鈴木教授、徳満教授、京樂教授、伊丹教授、久保田事務局次長、笹田委員、澤委員
説明者：西岡コーディネーター、門脇コーディネーター
事務局：山田総務課長、辻財務課長、吉野経営企画課長、澤村学生・就職支援課長、藤川教務課長、草川地域連携・研究支援課長、杉田課長補佐、堀江主任主事
欠席者：馬場委員

平成 30 年度第 7 回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会議事録（案）について、一部文言を修正の上、承認された。

議 題

審議事項

- 1 公立大学法人滋賀県立大学ハラスメント相談員規程の改正について
山田総務課長より資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認され、平成 31 年 4 月 1 日から施行することとされた。

報告事項

- 1 教員の採用について
廣川理事長より、資料に基づき説明があった。
- 2 公立大学法人滋賀県立大学視覚障害学生学修支援学生サポーター取扱要綱の改正について
澤村学生・就職支援課長より、資料に基づき説明があった。
- 3 平成 31 年度入学者選抜試験の日程について
藤川教務課長より、資料に基づき説明があった。
- 4 C O C+の取組状況について
田端地域連携担当理事より、資料に基づき説明があった。

[主な意見・質疑等]

- ・今年度新たに「ジョブ交座」を始めたとのことだが、どんな様子だったか。
→これまでとは逆の発想で、学生が集まる場所まで企業に来てもらい、昼休みに気楽な雰囲気です話をしてもらうことを目的に始めた。1 回目は企業 4 社、学生約 50 人が参加した。今後も継続していきたい。
- ・近江楽座の取り組みを、C O C+の参加 5 大学にも拡大したとのことだが、これは既存の活動を近江楽座として認定したものなのか、それとも近江楽座として支援することで、新たな活動が増えたのか。
→以前から活動している団体も含め、新たに支援することで活動が広がったと考えている。

- 5 各委員会等の結果の概要について
 - (1) 平成 30 年度第 7 回衛生委員会
 - (2) 平成 30 年度第 2 回広報委員会
 - (3) 平成 30 年度第 7 回国際交流委員会
 - (4) 平成 30 年度第 3 回学生支援委員会（書面開催）

- (5) 平成30年度第4回研究戦略委員会
- (6) 平成30年度第2回研究に関する倫理審査委員会
- (7) 平成30年度第1回地域共生センター運営委員会（兼地域教育部会）

[主な意見・質疑等]

(広報委員会関係)

- ・広報看板等については、ターゲットとする地元の高校の生徒に見てもらおうという観点から、彦根駅など地元注力することが必要ではないか。
→地元を重視するのか、見てもらえる人数を重視するのか、さらに検討を進めていく。

その他

- 1 コンプライアンス研修・人権研修について
山田総務課長より資料に基づき説明があった。
- 2 彦根市文化プラザ前の街灯設置について
山田総務課長より資料に基づき説明があった。